

## 投稿案内 (令和3年4月1日改訂)

日本菌学会ニュースレターは、会員への様々な情報提供と会員相互の交流を図ることを目的に、年4回(1月, 3月, 7月, 9月)発行されます。学会運営サイドからの報告や最新情報のアナウンスとともに、会員からの投稿による菌類全般に関する資料, 研究レポート, 報告, 紹介, 随想, 解説, 表紙写真(線画・イラストを含む)などを掲載します。投稿にあたっては、次のことを遵守してご執筆下さい。

1. 原稿はワープロソフト (MS Word, テキストエディタなど) を用い, A4 版用紙を縦長に, 上下左右を 2.0 cm 以上空けて, 横書きで作成して下さい。図表・写真についても, 可能な限り別の電子ファイル (EPS, TIFF, JPEG, BMP などの画像ファイル, あるいは Adobe Photoshop (PSD), Illustrator (AI)) をご用意下さい。
2. 原稿は, 電子メールの添付ファイルにてお送り下さい。投稿に際しては, 必要事項を記入した著作権譲渡書および投稿票を添付して下さい。電子メール投稿時の標題は, NL-##### (##### は投稿者の姓のローマ字表記; 山田なら NL-Yamada) として下さい。電子ファイルが比較的大容量の場合には, 送付方法について予めご相談下さい。投稿料は不要です。
3. 原稿作成にあたっての注意点: できるだけ簡潔な文章で作成して下さい。口語的な表現, 難しい言い回しや一般的でない漢字, 特殊な専門用語は避けて下さい。**アラビア数字および英字は半角に統一してください。句点は全角ピリオド「.」, 読点は全角カンマ「,」, 日本語の文中での括弧は全角「()」で入力して下さい。**いずれの原稿も, 体裁や文体の変更, 内容の修正, 投稿雑誌の変更などについて, 編集委員会から指示がなされる場合があります。
4. 資料・研究レポートは原則として刷り上がり5頁(原稿ベースで10枚程度)以内, 紹介・随想・解説は刷り上がり3頁(原稿ベースで6枚程度)以内とします。超過頁の可能性がある場合には, 予め編集委員長までお問い合わせ下さい。
5. 図表(写真を含む)は白黒で印刷されますが, ホームページ掲載分(PDF版)はカラー対応が可能です。写真の場合には, できるだけカラー版をご用意下さい。図表の枚数は特に制限しませんが, 本文と図表を合わせて制限頁内に収まるようご調整下さい。原稿の右欄外に, 図表の挿入位置を示して下さい。また, 誌面の都合ですべての図表を掲載できない場合があります。
6. 資料・研究レポートは幾つかの節に分け, 太字の小見出しをつけて下さい。菌のリストを含む原稿の場合, 原稿に使用した標本は博物館等に寄託して下さい。また根拠にした図鑑名を示して下さい。引用文献は最小限に留め, 例に従って記述して下さい。
7. 和名は学会推奨和名を使用してください。また, 新和名を提唱する場合は, データベース委員会の提言・勧告(日菌報 49:99-101, 2008)を参照して下さい。

8. 編集委員会による編集・校正後, 著者校正をお願いします。受け取り後, 48時間以内に校正しご返送下さい。別刷りは原則的に受け付けておりませんが, ご希望の方は編集委員までお問い合わせ下さい。

9. 支部, 談話会, 同好会などの会合, 研修会, 観察会の開催予定, 各地の博物館などで開催される展示会などの情報も随時受け付けます。ただし, 各号発行日の1ヶ月前までに到着するようご注意ください。

10. 掲載された資料, 研究レポート, 報告, 紹介, 随想, 解説, 表紙写真, その他の著作権は, オンライン配布を含み, 本学会に所属します。

11. 記事は原則として, クリエイティブ・コモンズ表示・非営利 (CC BY-NC 4.0) の条件下で掲載されます。ただし, 著者全員の合意があれば, 表示・非営利・改変禁止 (CC BY-NC-ND 4.0) も選択できます。

12. 引用文献の表記等その他詳細は, 日本菌学会会報の投稿規定, 投稿細則に準じます。

引用文献の表記例 (ローマ字アルファベット順)

### i. 雑誌

Hyde KD, Chalermpongse A, Boonthavikoon T (1990) Ecology of intertidal fungi at Ranong mangrove, Thailand. *Trans Mycol Soc Jpn* 31:17-27

池ヶ谷のり子・後藤正夫 (1988) シイタケ菌の子実体形成に及ぼすフェノール物質の硬化. *日菌報* 29:401-411

### ii. 単行本

全体引用:

Domsch KH, Gams W, Anderson T-H (1980) *Compendium of soil fungi*, vol 1. Academic, London

原田幸雄 (1993) キノコとカビの生物学. 中央公論社, 東京  
部分引用:

Cooke RC, Rayner ADM (1984) *Ecology of saprotrophic fungi*. Longman, London, pp 305-320

渡邊恒雄 (1993) 土壌糸状菌. ソフトサイエンス社, 東京, pp 82-109

章の引用:

Sagara N (1992) Experimental disturbances and epigeous fungi. In: Carroll GC, Wicklow DT (eds) *The fungal community*, 2nd edn. Marcel Dekker, New York, pp 427-454

徳増征二 (1983) 落葉生菌類. 菌類研究法 (青島清雄ら編). 共立出版, 東京, pp 107-116

### iii. 国際学会の要旨集あるいはプロシーディングス

Kirkpatrick B, Smart C (1994) Identification of MLO-specific PCR primers obtained from 16S/23S rRNA spacer sequences. 10th International Congress of the International Organization for Mycoplasmaology (IOM). Bordeaux, France, July 19-26, pp 261-262

### 原稿の送付先

日本菌学会ニュースレター編集委員長 広瀬 大  
〒274-8555 千葉県船橋市習志野台 7-7-1 日本大学  
薬学部病原微生物学研究室  
Tel: 047-465-3740  
E-mail: hirose.dai@nihon-u.ac.jp